

## 2003 年度 委員会活動成果報告

( 年 月 日作成 )

委員会名	火葬場施設研究会	主 査 名：八木澤 壯一
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部 岑生
設 置 期 間	2002年 4月 ~ 2004年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	火葬場は設計基準及び構造指針もない施設である。火葬の始まりから火葬場の実状をふまえて、火葬場本来のあり方に基づいて、建築計画と設計に必要な資料を得、指針を作成するものである。	
委員構成 (委員名(所属))	幹事 武田 至 火葬研究協会 委員 浅香 勝輔 日本大学大学院理工学研究科講師 阿佐見昭彦 日建設計 仲邑 孔一 前川国男建築設計事務所 益子 義弘 東京芸術大学美術学部建築科教授	
設置 WG (WG名:目的)		
2003年度予算	0 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	03.04.25 委員 4 名 オブザーバー 4 名 03.10.30 委員 3 名 オブザーバー 1 名 03.06.10 委員 4 名 オブザーバー 4 名 03.12.03 委員 4 名 オブザーバー 3 名 03.08.05 委員 2 名 オブザーバー 3 名 04.01.08 委員 4 名 オブザーバー 2 名 03.09.11 委員 4 名 オブザーバー 3 名 04.03.08
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)  全体の構成に基づき、関連資料の収集を行い、整理を行ってきた。 事例で紹介する個々の火葬場のデータを収集するためアンケート調査を行った。 200 施設に対して郵送による調査を行い、116 施設から回答を得た。 全体のバランスを見ながら、引用文献の取扱を含め不足している資料の再収集と以下の項目に分類し、まとめの作業を行っている。 維持管理運営の状況 作品事例 建設プロセスと施設計画 史的考証 火葬場に求められるもの
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)  必要な資料の収集はほぼ終了した。 現在、まとめの作業に入っており、当初の計画と比べると遅れ気味であるが、目標に対して 8 割程度は達成している。
その他評価すべき事項	火葬の始まりから、火葬の歴史に関して多くの資料を集めることができた。 火葬場本来のあり方を探る上で、基礎資料として役立つと思う。